



NO.1126

2017.7.9

発行所

日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
四二一、四四五八
F 四二一、四四五七



ヤマガラ

第2回定例会（6月議会） 松浦議員の一般質問 （その3）

高齢者世帯へのごみ分別の説明を、 特別な体制で

松浦議員：ごみの分別が4月から本格的に収集されているが、報道では不適切な排出が相当量あるとのこと。不適切な排出というのは、ある程度想定していたのではないが、現状をどのように評価しているのか。

市民環境部長：不適切な排出が増えることを予測していたことから、ごみの排出指導パトロールを4月から6月までの3ヶ月間について、6名増員して対応している。4月については、市内1500台のごみステーションで8800件という大変多くの不適切排出が見られたが、少しずつ改善に向かっていく。

松浦議員：どのような間違いが多いのか。市民環境部長：新たな分別区分となった「生ごみ」「容器プラスチック」「埋立ごみ」が分別

松浦議員：ごみの分別が4月から本格的に収集されているが、報道では不適切な排出が相当量あるとのこと。不適切な排出というのは、ある程度想定していたのではないが、現状をどのように評価しているのか。

上単身世帯に聞き取りを行い、ごみの出し方が分からない方には、生活環境課と福祉で対応する。

松浦議員：高齢者世帯への説明は特別の体制で、丁寧に実物を見せて具体的に分かりやすい方法で実施することが求められています。……と述べていました。

あばしり科学 フェスティバル開催



地震体験装置「ゆれるん」を体験する小学生

「15種類の科学の『ふしぎ』が待ってるよ!の呼びかけに、2日(日)エコーセンターの会場は「15みんなやってみよう」と多くの子供、親子が集まりました。どれも初めての経験が詰まっています。目の色を変えて作業していました。指導してくる東農大の学生や、桂陽高校の生徒なども一生懸命でした。

松浦奮戦メモ

企業発表として、株式会社「はくばく」社長の長澤重俊氏が「健康な未来をつくる!大麦パワー」と題して、健康

第13回健康都市連合日本支部大会が、4日、5日に網走市で開かれました。全国から首長、職員、議員、健康推進委員などが集まり、エコーセンターホールは参加者でいっぱいでした。基調講演は、日本体育大学常務理事の今村裕氏が「健康と心のバリアフリー」と題して、日体大付属高等支援学校が開校するまでのお話や「生徒たちは、様々な障がいを持っていても大きく成長できる」と熱く語りました。また、特別協賛

企業発表として、株式会社「はくばく」社長の長澤重俊氏が「健康な未来をつくる!大麦パワー」と題して、健康になるうと話されました。最後は、桐蔭横浜大学スポーツ科学研究科教授の桜井智野風氏（元東農大教授）が「みんなの健康元気なあばしり」の実現に向けて、地域に根ざす「網走流」健康づくり「カニチョッ筋トレ」がこれまでの経過について、ユーモアたっぷり話されました。大変勉強になりましたが、どう実践するかが問題ですね。

街・スポットライト



修繕された階段を上がる子どもと「よくなったよ」と言っていた

6月27日からの地元企業の『地域貢献活動』としての作業で、鉄南保安林内の通学路が整備補修されました。雨などによる土砂の流出、枕木の腐食、枕木押さ

えの鉄筋がむき出しなど「危険な状態」でしたが、これでひとまず安心して通学できそうです。「凸凹がなくなつてすっきりいいよ、歩きやすくなった」と元気に子供たちは答えていました。松浦議員の指摘や、町内会連合会の要請を受け実現したものです。しかし、市当局も認めているように、「あくまで当面の整備」で、『市道認定』をするなど本格的な工事で、しっかりとした通学路階段が早く実現する事が望まれます。

流氷

▼ゴリラがアフリカで発見されたのは、19世紀半ばと言われているが、その時ゴリラは2足で立って胸をたたくという行為が、ヨーロッパの探検家に戦の宣告だと誤解され、ゴリラは暴力的で戦い好きな動物だと100年以上も誤解されてきた。

▲京大の総長である山極壽一氏が、「家族という人間特有な組織」をもって生活している人間の家族の由来を知りたいと、家族的な集団をつくって生活しているゴリラの研究をする。アフリカへゴリラの研究に行き、ゴリラになつたつもりで接近し、5年、10年と毎日ゴリラの群れに逢いに行き行く。子供と仲良くなり少しずつ近寄り観察すると、ニホンザルと違い、ボスははず、ゴリラは相手を見る事が挨拶だったり、仲直りのしるしだったりしている。▲ゴリラは「負けない論理と構え」、共存のためのルールを作り、相手を押しつけるのではなく、友好的に共存している。相手を失わない。▲「勝つ論理と構え」を持つニホンザルには、弱い方が遠慮し、はじめから勝負は決まっている。勝とうと思つたら、相手を屈服させなきゃならないから、相手の恨みを買ったり、相手が自分を避けたりする。▲日本人はこれを混同して使っているような気がする。私たちが「負けない論理と構え」でこの悪政を切り開こう。(K2)